

北落合小学校・落合小学校・幾寅小学校・閉校式・惜別会 それぞれの歴史に幕降ろす

平成26年4月からの小学校統合に伴い、町内3小学校で閉校式が挙行され、開校以来、多くの卒業生を送り、地域とともに歩み続けてきた小学校の長い歴史に幕が降ろされました。

- ・幾寅小学校閉校式・惜別会
2月16日（180名出席）
- ・落合小学校閉校式・惜別会
2月23日（164名出席）
- ・北落合小学校閉校式・惜別会
3月2日（200名出席）

近年、町内小学校の児童数減少が加速している中で、教育基本法の改正により教育環境の見直し、学校施設の耐震化など、新たな小学校教育における課題から、児童の望ま



幾寅小学校閉校式

しい教育環境の確保と教育効果の向上の必要性から、平成25年度をもって3つの小学校を閉校し、この4月から新たに「南富良野小学校」を開校することにになりました。

それぞれの閉校式には、在校生や地域の方々をはじめ、旧教職員や大勢の同窓生の皆さんが出席され、主催者として池部彰町長が「今年度をもって閉校となることは寂しい限りです。今日まで小学校の発展に尽くされた皆様に感謝を申し上げます。」と式辞を述べ、学校長が惜別の辞を、来賓として梶浦仁（わがしむらひと）北海道教育庁上川教育局長並びに鹿野重博町議会議長からあいさつ



幾寅小学校校旗引渡し

をいただきました。

この後、校旗が各小学校長から池部町長に引き渡され、児童からお別れの言葉を述べ、（幾寅小学校ではインフルエンザで児童不在の中で行われました。）出席者全員で校歌を斉唱して閉会しました。

また、閉校式に引き続き、それぞれの地域では、閉校事業協賛会等による惜別会が開催され、町内のみならず道内外からも大勢の同窓生や旧職員の方々が出席され、思い出を語り合いながら、学び舎との別れを惜しんでいました。

幾寅小学校

明治37年7月22日（開校日）に下富良野小学校付属幾寅簡易教育所として創設し、明治39年2月幾寅尋常小学校に改称して、現在地に移転し明治44年5月に高等科が併設され幾寅尋常高等小学校に改称し、高等科を併置。昭和16年4月幾寅国民学校に改称、初等科と高等科を併置し、昭和22年4月に6・3制義務教育制度が施行され、幾寅小学校に改称されました。

昭和35年に校舎新築工事を

ブロック造りで施工、体育館を木造で建設、昭和37年に自衛隊によりグラウンドを整備、更に昭和46年鉄筋コンクリート造2階建てになり、昭和50年には6学級となりました。

生徒数は、昭和33年に507人を数え、昭和33年から昭和42年までは12学級編成でした。開校以来、これまでに4、5、24人の卒業生を送り出しましたが、閉校時の生徒数は、6学級88人となり、109年の歴史に幕を閉じました。

閉校後の校舎は、解体され新設「南富良野小学校」に引き継がれ、新たな歴史と伝統を築きます。



幾寅小学校校舎

落合小学校

明治34年9月1日（開校日）に富良野村落合簡易教育所として創設。明治35年12月に現在地に新築移転、明治41年落合尋常小学校と改称し、更に昭和22年4月に6・3制義務教育制度が施行され、落合小学校と改称。大正12年には5学級児童数285名、昭和34年には児童数275名が在籍しました。昭和44年11月に現在の鉄筋コンクリート造2階建の校舎を新築し、昭和59年12月鉄骨造の体育館が完成しました。開校以来2、273人の卒業生を送り出しましたが、閉校時には2学級10人となり、教職員は校長を含めて3名で、



落合小学校惜別会

112年の歴史に幕を閉じました。



落合小学校校舎



北落合小学校閉校式

学校の前身となる南富良野村簡易教育所東特別教授場として創設されたが、翌大正9年11月には農民が離農し、児童減少により閉鎖、昭和11年11月17日（開校日）には北落合尋常小学校として再び開校され、昭和16年4月国民学校令が公布され北落合国民学校と改称。昭和22年4月6・3制の学制が施行され北落合小学校と改称し、この時、児童数20名の1学級編成でありました。昭和30年12月現在地に新校舎落成移転、昭和35年11月体育館新築、昭和38年に北落合地区に電気が通じ、平成4年6月に校舎改築のため公民館分館で授業を行い、同年12月2階建の現在の校舎となっています。



北落合小学校惜別会

児童数のピークは、昭和33年に61名を数え、これまでに287人の卒業生を送り出しましたが、閉校時には2学級6人となりました。惜別会には地域の女性部の日本舞踊や旭川商業高校吹奏楽部が演奏を披露しました。



落合小学校閉校式



北落合小学校

北海道で最も高地にある北落合小学校は、大正8年4月10日に川合農場内に北落合小



北落合小学校校舎